

# 大臣賞や優秀賞に輝く

## 栃木農業高校環境科学部 おめでとうございませす



▲各賞の受賞について市長（中央）を表敬訪問した同部のみなさん

- ◎第1回エコワングランプリ 文部科学大臣賞
- ◎全国高校生 みんなDE笑顔プロジェクト 優秀賞
- ◎2012地球にやさしい作文・活動報告コンテスト 内閣総理大臣賞

遊水地のヨシを使ったヨシズ作り復活やヨシ堆肥の考案、省エネ貢献や地場産業の活性化を地域一体となつて行っていることなどが評価されました。

全国高校生 みんなDE笑顔プロジェクト 優秀賞

全国農業協同組合中央会 主催全国高校生 みんなDE笑顔プロジェクトの地域活性化プロジェクト部門で、優秀賞を受賞。

「ヨシの恵みで農と環境の村おこしプロジェクトに挑戦」は、長年の地道な活動や、ヨシ堆肥・皮付きヨシズの開発など地域ぐるみで行っていることが評価され、今後の知識の共有化・ネットワーク化による発展を期待したいとの受賞でした。

## 平成 24 年中 火災、救急、救助白書

市内の火災件数は、73件で前年にくらべ5件の増加で火災種別の上位は「その他の火災」「建物火災」の順になっています。

死者は4人（前年比4人減少）、負傷者は1人（前年比5人の減少）です。

建物火災は32件（前年比3件増加）、全焼棟数は15棟（前年比6棟減少）です。

損害額は111,045千円で前年にくらべ17,311千円の減少で、出火原因の上位は「たき火」「放火」「放火の疑い」の順です。

火災1件当たり消防職・団員が約48人出動しています。  
\*たき火を行うときや、コンロを使うときはそばを離れないようにしましょう。

\*住宅用火災警報器を取り付けて命を守りましょう。

救急出場件数は、5,193件で前年にくらべ169件の減少で、搬送人員は4,733人で前年にくらべ137人減少しています。

事故種別の上位は「急病」「交通事故」の順になっています。

\*救急車が出動中の場合は、消防車が出動し応急手当を行います。

救助出動件数は、118件で前年にくらべ35件の減少です。

活動件数は40件で前年にくらべ30件の減少で、活動種別の上位は「交通事故」「その他」の順です。

その他の災害の出動件数は管内で540件、前年にくらべ40件の増加です。

出動種別の上位は「支援」（救急隊・ドクターヘリの活動支援等）「危険排除」（交通事故等による油漏れ等）です。

消すまでは  
出ない行かない  
離れない

消防本部予防課  
☎ 22 - 0119 ガイダンス 3

## 市消防署・高規格救急車を更新

市民の皆様の安心、安全の確保に向け平成24年度車両更新計画に基づき、栃木市消防署に高規格救急自動車（高規格救急車）が配備になりました。

高規格救急自動車は、救急業務の高度化に対応するため、AED（半自動除細動器）や人工呼吸器などの資器材が積載されています。

\*救急出場件数が増加しています。

真に緊急を要する方のため、

救急車の適正利用をお願いします。

消防本部予防課 ☎ 22 - 0119 ガイダンス 4



## 第1回エコワングランプリ

文部科学大臣賞  
社会貢献組織イオン1%クラブ主催第1回エコワングランプリで、準グランプリを受賞しました。「ヨシの恵みで環境保全活動〜とりもどせ農家のヨシ産業・足尾の緑」と題した発表で、

読売新聞社主催2012地球にやさしい作文・活動報告コンテストで、同部の3年生竹中紗矢佳さんが内閣総理大臣賞を受賞しました。「ヨシの恵みで環境保

全活動〜よみがえれ足尾の緑・農家のヨシズ産業」という題で、地場産業のヨシズ作りの復活とヨシたい肥を取り組みを紹介しました。

すべての部門で計1万6千32作品の応募があった中、栄えある第1位にあたる内閣総理大臣賞を受賞しました。

本誌におめでとうございませす。  
本誌書広報課 ☎ 21 - 2226

## 第51回電話対応コンクール全国大会 県初の日本一

### 三澤教子さん（ケーブルテレビ）が優勝



▲栃木県で初めての日本一。市役所を訪れ、鈴木市長に報告する三澤さん（左）

公益財団法人日本電信電話ユーザ協会主催第51回電話対応コンクール全国大会で三澤（旧姓・上斗米）教子さん（ケーブルテレビ株式会社）が優勝しました。

大会は、正しく美しい日本語を守り伝え、顧客満足向上を目指した電話対応の技能を競い合うもので、1万人以上が参加した都道府県予選を勝ち抜いた57人の選手が出場して行われました。

コールセンター実務で電話の向こう側に笑顔が見える対応を心がけている、日々の努力とスキルを如何なく発揮し、県として初となる日本一の栄冠を手に入れました。

三澤さんは「職場のコールセンターの仲間の協力と励ましが力となり、がんばれました」と語ってくれました。誠におめでとうございませす。

本誌書広報課 ☎ 21 - 2226

## お知らせ

5月から「コンビニ交付サービス」  
4月15日から市の窓口で  
事前の利用者登録開始

5月15日からコンビニエンスストアで、住民票の写し・印鑑登録証明書の交付サービスを開始します。「住民基本台帳カード（住民基本台帳カード）」と「事前の利用者登録」が必要です。利用者登録は、4月15日から次の窓口で開始します。

【コンビニ交付利用者登録の受付窓口】

▽本市民生活課

▽各総合支所生活環境課

コンビニ交付利用者登録手続きは、本市に住民票のある本人（15歳未満の方、成年被後見人を除く）が、

- ①住基カードと住基カードの暗証番号②顔写真真付きの本人確認書類③印鑑登録証を持ち申請してください。

既に印鑑登録を行っている方は、利用者登録の際、住基カードと印鑑登録証を

一本化し、印鑑登録証を回収します。代理人による申請はできません。

住基カードを持っていない方は、別途住基カードの手続きが必要です。

【利用できるコンビニ・証明書の交付時間】

全国のセブンイレブンは平成25年中に取り扱えるコンビニが増える予定）6時30分〜23時（12月29日〜1月3日の年末年始・機器のメンテナンス時を除く）

【住民票の写し・印鑑登録証明書発行手数料】

▽コンビニ交付 180円  
▽庁舎窓口・自動交付機 200円

本市民生活課 ☎ 21 - 2147  
☎ 21 - 2148

## ハッピー子育て⑫

子どもの甘えを  
受け入れること

子どもは親に甘えることで安心感を得たり、心の痛みを癒やしたりします。そのため、学校での出来事などを親に話そうとします。

そんな時、子どもの話をよく聞かずに「今は忙しいから後でね」「叱られたのは、きつとあなたが悪かったのでしょう」と言っていると、子どもは安心感を得られず、心の痛みも癒やされません。

子どもが親に話を聞いて欲しいときは、子どもが親に甘えたい時です。忙しくても少しの時間子どもの話に耳と心を傾けてあげましょう。

一方、「甘やかす」とは、親が子どものためと称して必要以上に子どもの世話をやき、子どもが自分でしなければならぬことを親が代わってやることとす。子どもの成長にとって大きなマイナスとなるので注意しましょう。



本生涯学習課 ☎ 21 - 2731